

首都圏段戸会会報

平成22年9月
第26号発行責任者
首都圏段戸会
会長 永田 宏
編集発行人
広報担当 磯尾 進

ご挨拶

首都圏段戸会会長 永田 宏 (高11回)



It is greek to me なる英語の表現を皆さん御存知でしょうか。「私には、訳が分からない」といった意味でしょうか。Greek 即ちギリシャ人の国で起こった財政問題の根本原因は、我々にとって中々理解し難いのですが、政治家不信、責任あるべき上層階級不信引いては、国家体制の不信と無責任性に尽きるともいえます。

グローバル化された世界では、一国の問題から端を発し連鎖の波が瞬時に世界中を不安定へと押し流したりします。そんな過激な今日の世界の動きの中で、我国は、未だに内向きで島国的思考と対応に終始し、世界のリーダーとしての意識や責任感、行動力がややもすると欠けている様にも思えてなりません。皆さんは如何お考えですか。いつか世界の人々から、It is japanese to me 1 などという表現で批判をされない様にしなければなりません。

そんな不安な流れの中でも、岡崎高校は引き続き高邁なる確固とした教育方針の下で、続々と優秀なる生徒を生み出して呉れています。文武両道、豊かな情操、心身共にたくましさを培う世界に誇れる日本の公立高校の一つとして、更に頑張っ

て頂く為にも、高須新校長の下、先生方の一層の御尽力に期待したいものです。

過去の楽しかった又は辛かった思い出話を同時代の人々が語り合うのも同窓会ですが、良き文化を伝承し、先輩後輩が一同に会し共に未来を語り合う場を提供するのも同窓会です。第38回総会も「流石、首都圏段戸会！」と言って頂ける様に、総勢八十名にも上る世話人の方々の御協力を得て準備を進めて参っています。先輩、後輩、同期生、大いにお誘い頂き、久し振りの招聘恩師との出会いに感激し、校歌の大合唱で明日への活力を得る楽しくも貴重な機会を共有出来る事を心から期待しております。

D-misoプロジェクト活動報告

～皆で大豆を育てて赤味噌を作ろう！～

① D-miso2009 発酵中 !!



岡崎のカクキューさんで2月13日、16日に味噌の寒仕込みをしました。昔ながらの伝統製法の八丁味噌と米味噌の2種類。八丁味噌の作り方は、大豆を蒸す→味噌玉にする→麹をふりかけ発酵→つぶして塩と水を加えてまぜる→木桶に詰める。米味噌の方は、大豆を蒸す→つぶす→米麹と塩を加えてまぜる→木桶に詰める。



八丁味噌は待つこと2年。米味噌は半年ほどで食べられるということで、今年の総会で焼き味噌にして皆さんに味わっていただきたいと考えています。

ぜひ、多くの方にご賞味いただき、味噌を囲んで盛り上がりたいと思いますので、どうぞ総会にお越しください！

② D-miso2010 大豆育て中 !!

今年もD-misoプロジェクトを約40名に参加いただいて継続しています。5月に発送された大豆は、メンバーのプランターや畑ですくすくと育っています。暑い夏を乗り切り、秋にはたくさん収穫できることを期待しています。

また、1年に1度、全国一斉にボランティア活動を行う「Make a CHANGE Day」への参加を検討中です。詳細は、D-misoプロジェクト2010ブログ (<http://d-miso.jugem.jp/>) でお知らせしていく予定ですので、ご期待ください。

プロジェクトへのお問い合わせは、D-miso事務局 (d-miso@googlegroups.com) まで。

【番外編】

本プロジェクトにご協力をいただいているカクキューさんも参加する展示会「おかざき匠の会 in 江戸」が東京 (Rin: 港区北青山3-6-26) で平成23年3月4日～6日に開催されます。テーマは「江戸の故郷おかざき」。首都圏段戸会にも通じるものがあります。詳細はウェブ (<http://okazakitakuminokai.jp/>) で！

報告: 長野 (高42回)

特集

人生お楽しみ中！

三つの楽しみ

高13回 小森 葆子

(旧姓・田中)

平凡な日々を過ごしている私が表題の特集欄に筆を取らせて頂くのは不向きかと懸念されます。ただ、生来が楽天家のためか今の生活、平凡な暮らしをも大いに楽しんでいます。

現在、三つの楽しみがあります。

一つめは三歳の孫と歌ったり踊ったり、電車を見ては歓声を上げています。我が子を育てた時には夢中で気づかなかった驚きや可愛さが味わえます。

次に少人数ながら和気藹々の英会話クラスを持つことです。

そして俳句。俳句をはじめたのは至って不純な動機でした。主人の転勤により見知らぬ関東で友達が欲しい、おしゃべりがしたいと願いました。そんな折に偶々紹介して頂いた方が俳句をなさっていた為でした。尤も長い海外生活では日本の四季の変化や、美しい日本語への憧れを抱いていました。

最初の吟行会は石神井公園でした。激しい雨の中で句帳を手にも、何やら目を輝かせている方々の姿に新鮮な驚きを感じました。句会場では個々の感動が美しい十七字に纏められていて感銘いたしました。

た。以来、良き先輩、友人の励ましを頂きながら細々と続けてこられました。

自分の不勉強を棚にあげて、不調な時には「たかが俳句」ではないか、と居直りしますが、そこは「されど俳句」です。俳句の魅力が後髪を捉えて離してくれません。

私にとって俳句の最大の魅力は感動する心です。年々感動が薄れていきます。俳句を通じて日常生活の中にも驚きと発見を見つけ出そうと心がけます。吟行に出かければ最高ですが、身の回りの些細な事柄にも句材はあると言われています。暑さ寒さも良し、花が咲き鳥が鳴けばなお良し、滑って転んでも良しです。感動する心はボケ防止にもなると期待しています。又、細切れの時間でもそれなりに楽しめることも忙しい人や主婦には魅力です。

幸いにも段戸会にはネットによる「段戸句会」があります。NHK俳句講座講師、俳誌「かつらぎ」で新芽集の選者としてご活躍中の平田冬かさん（高14回卒、旧姓仙波環）が選と講評をして下さいます。懇切丁寧な講評は初心者にも解り易く、勉強になります。関東のみならず全国の同窓生の方々にもご参加頂き俳句の楽しみを分かち合いたいと願っています。

音楽健康法

高14回 諫山 久美子

(旧姓・岡)

私は岡高時代にはコーラス部でピアノ

伴奏を受け持っていました。音大では教育音楽学を専攻し、卒論のテーマには「音楽療法」を選んで病院や老人ホームなどで歌唱指導をいたしました。（卒業後も長く続けました）

この経験を通して「音楽ってなんてすばらしい力を持っているのだらう！」と驚かされた2、3の例を挙げますと、ある老人ホームで、誰とも会話をしなかったおじいさんが少年の頃によく歌った「埴生の宿」を私が歌いますと、嬉しそうに一緒に歌い始めたのです。職員の方は「初めてAさんの声を聞いたわ」と言って驚かれました。また、童謡や唱歌を歌いながら、笑ったり涙を流すおばあさんもありました。きっと子供の頃が懐かしく思い出されたのでしょうね。

その後、私は教会に籍を置いておりましたので、ミサ等のオルガンを弾く事になり、同時にパイプオルガンの勉強に通い始めて現在に至っております。教会音楽は神への賛美や感謝という「祈り」ですから、会衆は敬虔な気持ちを持って一つに結ばれます。

もう一つ全く別な音楽体験をご紹介します。私はヨガを20年続けておりますが、このヨガの先生は若い時から「歌を習いたい」という希望を抱いていらして、私のところで毎週声楽の練習をなさってもう16年、現在80歳でいらっしやいます。喜寿の祝いでは「トウーランドット」の「誰も寝てはならぬ」を、傘寿の祝いでは「ウェストサイド物語」の「Tonight」を熱唱なさいました。先

生のお顔はヨガと声楽の相乗効果でピカピカに輝いていらっしやいます。

またインストラクターの男性が、「大勢の前で指導するには声に力が足りません」と先生に言われて私と一緒に勉強し始め、過去になかったほどの高い声や低い声や大きい声が出せるようになり、歌も上達しますと、顔は明るくなりヨガを指導する時には自信も備わってきました。誠に「音楽は偉大」です。

この他にも私は孫にピアノを教えに行きまじたり（お土産付きで無料！）声楽やオルガンのレッスンを受けに行きまじたりで、毎日が好きな音楽に囲まれて幸せなのですが、一つだけ悲しい事は今年1月に私の4女？（愛犬セーラ、ラブラドル）が15歳2カ月で旅立ってしまったことです。セーラはいつも私の足元で歌やピアノやオルガンを聴いていました。天国にいるセーラのもとに音楽の調べが届きますようお願いを込めて、謙虚に学び続けたいと思います。



音大時代の歌唱指導。ここが原点

なぜこの仕事を? — 金融の巻

リスク管理と私

高46回 浅井 太郎

高46回卒の浅井です。現在、金融庁でバーゼルⅡ関連の仕事をしています。

『バーゼル』って何?

スイスの都市の名前です。

銀行等の預金取扱金融機関は、預金者の保護及び金融システム全体の信頼性確保のため、一定の健全性の基準を満たすことが求められています。この銀行等に対する健全性維持のための規制を『自己資本比率規制』といいます。

『自己資本比率』は、株主資本等から構成される自己資本を分子、保有資産のリスクに応じたリスクアセットを分母として算出します。この『自己資本比率』は、国際的に活動する銀行間の競争条件を確保するため、国際的に統一されたルールが策定されています。

このルールが、スイスのバーゼルの国際決済銀行(BIS)に事務局を置く『バーゼル銀行監督委員会』で策定されており(そのルールを『バーゼル合意』といいます)、『銀行等の自己資本比率規制』といえ『バーゼル』ということになります。

バーゼルⅡって何?

2007年に『バーゼル合意』が大きく変わり、この変わった新しいルールを『バーゼルⅡ』といいます。『バーゼルⅡ』では、分母のリスクアセットの計算方法が変更され、信用リスク(貸出先の倒産等で発生する損失)の計測方法を精緻化するとともに、従来からの市場リスク(市場価格(金利・株価・為替など)の変動により発生する損失)に加え、オペレーショナルリスク(事務ミスなどの



業務遂行上発生する損失)の計測が求められることとなり。また、それぞれのリスクについては、高度な計測手法として、一定の要件のもと、銀行内部でのリスク管理の

モデルを用いることが認められており、規制自体が銀行等のリスク管理の高度化へのインセンティブを与える仕組みとなっています。(なお、2008年、2009年に発生した金融危機を受け、バーゼル銀行監督委員会が『バーゼルⅡ』の見直しが議論されています。)

で、なぜそんな仕事を?

私は社会人の第一歩を銀行員として踏み出しました。銀行では、金融業界の再編等もあり、所謂ローテーション人事の中で『多様な仕事』を経験しました。そんな多様な仕事は当然自らの意思とは関係無いところで決まることが多かったです。(短慮にも)「自らのキャリアは自らで決めた」「そのためには転職するしかない」と、『多様な仕事』の中から選んだのがリスク管理であり、『バーゼルⅡ』の世界でした。

あなたにとってのリスク管理は?

リスク管理においては、失敗例を積み重ね、より大きな失敗を避けるという考え方があります。自らのキャリア構築も同じでしょうか。失敗すれば、新しい経験ができたと同様に捉える今日この頃です。まあ、私には、最初の転職先が解散してしまうという失敗例がありますから。

円借款業務の魅力

「開発途上国の

ベストパートナーを目指して」

高54回 山田 英嗣

私は2008年に円借款の実施機関であった旧国際協力銀行に入行し、アジアの最貧国の一つであるバングラデシュへの円借款事業を中心に開発援助の業務経験を積んできました。組織改変を経て現在は独立行政法人国際協力機構(JICA)に勤務しております。円借款とは、開発途上国に対し低利・長期間の開発資金を融資する日本の二国間援助スキームで、金融による開発援助です。私は中学生の頃から開発途上国の問題に関心を持っており、大学院でも開発経済に関連した研究をしていました。就職に際し、金融業というよりむしろ開発援助に関わりたいと思ってこの仕事を選びました。

この仕事の魅力は、資金の融通という金融サービスの枠を越えて、相手国の経済・社会の発展に資する開発事業を相手国と一緒に形成し、それをより確実かつ効率的に実施するための手助けをできることです。私はバングラデシュ担当として、現地への出張や、現地事務所のネットワークを使って、バングラの開発事業に関する最新のニュースを入手し、政府機関や国際機関の担当者たちとの協議を通じて、どのような事業が優先的に実施されるべきか、またJICAはその中でどのような支援をしていくべきか、今後の支援方針のプランニングに携わりました。また、円借款での事業化を目指す個別の事業についても、相手国のオーナーシップを尊重しつつ、事業の形成に深く関与しています。私が担当していたバングラのある地方都市に上水道を整備する事業では、何度も現地を訪問し、また日

本の優秀なエンジニアの方々の力を借りながら、浄水場の規模や取水の場所と言った技術的な問題から、水道公社の組織体制強化プログラムに至るまで、最初はいまいだった事業の姿を具体化するプロセスに関与しました。我々が関与することによって、相手国にとって重要な事業をより効果的な内容に高め、迅速・確実に実現できるようにすることが求められており、またそうしたプロセスを通じて、相手国の国家建設における良きパートナーとなるよう常に努力することに醍醐味を感じます。

また、我々はキャリアの中で数回海外駐在の機会があります。途上国における開発事業の実務を現場でたっぷり経験できることは、この仕事の一番の魅力といってもいいと思います。加えて、世界銀行やアジア開発銀行といった国際機関と共同で実施する案件も多くあり、彼らと同じ土俵で議論し、競い合っていることは大変刺激的なことです。このように、国際的な舞台で、世界が直面する問題に直接取り組むチャンスにあふれた仕事だと感じています。



バングラデシュ・シュンドルボンの子供達と

段戸サークル活動報告

囲碁の歴史と段戸囲碁会

今回は“段戸囲碁会”のご紹介と同時に“囲碁の歴史”について少しご紹介します。

<囲碁の歴史>

囲碁の歴史は古く、中国で創作されたとされ2000年以上前には既に大衆の娯楽として定着していた史実があるそうです。日本では大宝律令（701年制定）に囲碁のことが書いてあるそうですから少なくとも1300年以上の歴史があることになります。

我が郷土愛知の3英傑“信長、秀吉、家康”も共通の囲碁の師匠“日海”（後の本因坊算砂）に手ほどきを受けています。江戸時代に入り、算砂の本因坊家、井上家、安井家、林家の四家が碁の家元として碁界を牽引し、碁黄金時代を築くことになります。

1923年（T12）に日本棋院が、1950年（S25）には東の日本棋院に対抗し、当時の本因坊昭宇（橋本宇太郎）によって関西棋院が創設されました。

現在主たるタイトル戦には本因坊戦、名人戦、棋聖戦、十段戦があり、21世紀に入って張羽・高尾紳路・山下敬吾・羽根直樹の30代の若手四天王で独占されていましたが、それに加え弱冠20歳の井山裕太がそれに割り込んで来ています。

<段戸囲碁会>

高1回生から高30回生まで約20名の会員（棋力は七段から3級まで。女性一人を含む）が入会し、学士会館での月例会（最近はちょっと中断）、時習館高同窓会との対抗親善碁会も既に7回を数えています。（第8回大会は7/17に開催予定です）

碁は頭をフルに使うため、“ボケ防止には最高であり、且つ、品格を重んじる優雅な競技”です。文武両道の岡高健児には正にピッタリな娯楽です。初心者大歓迎です。入会申し込みお待ちしております。（藤田：090-4733-4698/kfujita@muc.biglobe.ne.jp）

速報！ 7月17日の時習館との対戦は23勝14敗で岡高の勝利、これで通算岡高の7勝1敗となりました。
藤田（高13回）



段戸華教室にいらっしゃいませんか



段戸華教室は2004年6月に始まり、先日第17回目のレッスンを行いました。華教室のきっかけは、世話人の集まりの中で「段戸フォーラムのような固い内容の会だけでなく、なにか楽しい趣味の会をやれたらいいですね」と、話し合いをしたことでした。ちょうど副会長の水谷さんがフラワーアレンジメントの先生だからお願いしてみましょう、という話になり、水谷さんも快く引き受けてくださいました。さらに同窓生のよしみということで、ほとんど材料費のみでレッスンをしていただけることにもなりました。日本国内だけでなく、グローバルにご活躍なさっている水谷さんに、少人数でアットホームな雰囲気の中で教えていただけるという、とても贅沢なレッスンです。

水谷さんは、忙しい日常の中で、お花を愛する心を持ち、細やかな心遣いができるようになることは、きっと人生にプラスになるだろうとおっしゃいます。実際、レッスンで教えていただくのは、「どのように生ければ、この花を一番輝かせるだろうか、と考えること」や「花も葉も、使えるところはすべて無駄にしない」という、花に対する深い愛情と自然への感謝の気持ちです。花が一番きれいに見える向きを探して、周りの花との色・形の調和を考えてアレンジをしています。ともすると見逃してしまうような、花びらの微妙な色合いや、葉っぱの形のおもしろさなども、じっくりと観察をしながら作品を作っていきます。集中して作品をつくり終えると、本当に心がリフレッシュするのを感じます。

レッスンは年に3回ほどで、季節にあったアレンジメントや、クリスマス・リースなども学んでいます。今までのレッスンの内容は、ホームページに写真付きで掲載されています。また段戸会総会では、水谷さんご提供の花材を使って作品を制作・展示し、ご出席の皆様にレッスンの成果を見ていただいています。

現在は女性ばかりの会ですが、もちろん男性も大歓迎です。初めての方も、大変丁寧に教えていただけますので、どうぞお気軽にご参加ください。

西浦（高45回）



第38回首都圏段戸会総会・懇親会のご案内

●日 時 平成22年10月30日（土）13：30～17：00

●場 所 アルカディア市ヶ谷（私学会館）（右地図参照）
千代田区九段北4-2-25（TEL 03-3261-9921）
JR市ヶ谷駅から徒歩2分
地下鉄市ヶ谷駅（有楽町線、南北線、新宿線）
から徒歩2分



●講演会（紫綬褒章受章を記念して）

テーマ：「（やはり）人生は楽しむしかない！」

講師：福山 透氏（高19回）東京大学大学院薬学系研究科教授

略歴：1971年 名古屋大学農学部卒業

1977年 ハーバード大学化学科で博士号取得（岸義人研究室）

1978年 ライス大学化学科助教授

1982年 同准教授

1988年 同教授

1995年 東京大学大学院薬学系研究科教授 現在に至る

受賞：2004年 アメリカ化学会賞 2006年 日本薬学会賞

2009年 中日文化賞

2009年 紫綬褒章

●会 費 経済環境は依然厳しい状況が続いていますので、今年度も会費の一律1,000円減額を継続いたします。ただし学生割引を除きます。

男 性 8,000円 → 7,000円 女 性 6,000円 → 5,000円

☆割引制度

- ・ 古稀を過ぎた会員（高10回以前） 5,000円 → 4,000円
- ・ 夫婦割引 同伴の女性会員は半額の 3,000円 → 2,500円
- ・ 若手割引（高48回以降） 5,000円 → 4,000円
- ・ 学生割引 1,000円

☆ご招待制度

- ・ 古稀を迎えられた会員の方は、ご招待（会費無料）とさせていただきます。
- ・ 今年度対象者：高校11回（昭和34年3月卒）の皆様

●招聘恩師（予定）

石川 耕春先生（数学）

村井 憲明先生（英語）

吉野 功 先生（体育）

青山 伸一先生（理科）

石川 邦利先生（数学）

岩瀬 雄高先生（世界史）

藤原 波一先生（理科）

●事前会員登録のお願い

総会・懇親会にご参加頂ける方で、首都圏段戸会の会員登録がまだお済みでない方は、お手数ですが、首都圏段戸会ホームページ（<http://homepage3.nifty.com/dandokai/>）の「会員登録・変更」のページから事前にご登録頂ければ幸いです。

運営基金協力のお願い

首都圏段戸会会長 永 田 宏

日頃から首都圏段戸会の運営にご協力を頂きまして、誠に有難うございます。

首都圏段戸会は、昭和47年（1972年）8月に第1回総会を学士会館で開いて以来、今年で38回目の総会を迎えることとなりました。この間、当初は30～40名だった総会出席者も、昨年は250名余にまで増え、出席者の幅も、高校第2回・中学第51回（1950年3月卒）の大先輩から、岡崎高校を卒業したばかりの高60回（2008年3月卒）までの幅広い層の皆さんにご出席頂けるようになりました。

これも偏に会員の皆様のご支援の賜物と、重ねて御礼を申し上げます。

現在、首都圏段戸会では、長い歴史のある岡崎高校ならではの特色を活かし、首都圏において、「高校～大学～社会人を一貫してサポート」すべく、年間を通して各種イベント、勉強会、同好会、後輩への支援など様々な活動を進めています。

毎年夏には、岡崎高校の現役学生を対象に、大学の見学、大学生生活の紹介、その他学生の諸々の相談に乗る「オープンキャンパス」の活動を若手の会員が中心になって進めています。また、大学生を対象に、将来の進路の選択に参考となるよう、社会人の先輩の経験を紹介し、意見交換をする「段戸フォーラム」も開催しています。

その他にも同好会（「段戸サークル」と呼んでいます。）として、体育会系のゴルフ、山登りから、文化系の音楽、フラワーアレンジメント、囲碁、俳句まで幅広く活動をしています。

また、首都圏段戸会の諸活動を皆さんにお伝えするために、「首都圏段戸会会報」（年2回発行）を作成して、会員の皆さんにお送りしています。H21年度からは会報をカラー化し、より生き生きとした表情をお伝えできるように致しました。

同様な趣旨で、会員の皆さんにタイムリーな情報を伝えるため「首都圏段戸会Home Page」（URL：http://homepage3.nifty.com/dandokai/）も開設し、鮮度の良い情報も提供できるようになりました。

総会の準備を始め、これまでご紹介してきました色々な活動を支えているのは、皆さんから頂いている「運営基金」と、各年次から集まった80名近くの「世話人」の皆さんのボランティア活動であります。

首都圏段戸会は、企業・団体からの寄付などではなく、正に一人一人会員の皆さんのご支援・ご協力によって支えられ、人間的な手作りの感触を大切にしながら運営されている同窓会です。

つきましては、首都圏段戸会の活動を、これからも益々充実したものとするため、これまで以上に幅広く、会員の皆さんからの運営基金のご寄付を募りたいと思います。ご協力の程宜しくお願いいたします。

首都圏段戸会会計報告（平成21年度）

貸借対照表

平成21年12月31日現在 (単位：円)

科 目	金 額
I 資産の部	
現 金	21,281
通 常 貯 金	481,200
郵 便 振 替	922,520
資 産 合 計	1,425,001
II 負債の部	
未 払 金	0
負 債 合 計	0
III 正味財産の部	
正 味 財 産	1,425,001
負債及び正味財産合計	1,425,001

収支計算書

平成21年1月1日から平成21年12月31日まで (単位：円)

科 目	金 額
I 収入の部	
総会懇親会会費収入	1,310,500
運 営 基 金 収 入	1,316,500
受 取 利 息	458
当期収入合計	2,627,458
II 支出の部	
総会懇親会費用	1,376,633
印 刷 費	600,116
通 信 費	344,920
世 話 人 会 費 用	249,350
雑 費	98,099
当期支出合計	2,669,118
当期収支差額	△41,660
前期繰越収支差額	1,466,661
次期繰越収支差額	1,425,001

監査報告書

首都圏段戸会の平成21年度(自
平成21年1月1日至平成21年12月31
日)の計算書類は適正かつ正確であ
ることを確認いたしました。

平成22年7月28日

会計監査 丹羽 鼎

会計監査 都築 正行

平成21年度運営基金協力者

(校長)	鈴木喜昭	男昭茂	近藤	肇雄	(高12回)	本水山	多野崎	慶義宣	成之典	三浦田	美正雄	穂正雄	子雄	(高22回)	早川久	久田山	右衛門	門市治	丸山近	川上藤	美俊洋	雪文子
(恩師)	植阿部	一喜	源立	藤谷			川垣林	早房孝	豊苗子	安大菅	藤橋野	達祐則	彦子彦		矢青木	山下田	金裕哲	市治平	山上近	田上藤	俊純弘	文子子
(中40回)	阿片岡	源二	近藤	肇雄			浦満智	三子	子子	菅近立	野藤花	則祥陽	子子男	(高23回)	青木柴	木瀬谷	龍雅章	谷雄祥	新新中	木村上	裕美賢	子治子
(中41回)	鵜前川	正博					杉堤成	三子	子子	菅近立	野藤花	則祥陽	子子男		高長渡	佐野々	嘉山	雄一仁	中溝	清水	和郁	夫
(中43回)	清水谷	一郎	田口	堅秀	(高13回)		新井川	康勝保	夫之子	伊近柴	藤田道	正興一	子明治	(高24回)	野高	田保澤	山邦治	浩夫男	清	田林本	弥宏仁	生史
(中47回)	神藤	芳司	村富	松國			森本	隆重忠	重德仁	柴神杉	田道淵	千雅浩	男秋洋	(高25回)	明小	小戸樋	江井和	範三德	岡小竹	田本本	宏妙三	子郎子
(中49回)	畔柳山	照夫	山本	耕八			島井	功幸	一正	中平藤	山野田	源訓宏	也之直		小戸樋	江井和	幸信誠	三德子	田林本	橋田	容利雅	美子子
(高1・中50回)	陶山川	夫	山本	一正			柴杉	幸正	昭治	中平藤	山野田	源訓宏	也之直	(高26回)	小戸樋	江井和	幸信誠	三德子	田林本	橋田	容利雅	美子子
(高2・中51回)	中宮青	夫	山本	一正			鈴堤	幸正	昭治	中平藤	山野田	源訓宏	也之直		小戸樋	江井和	幸信誠	三德子	田林本	橋田	容利雅	美子子
(高3・併23回)	今野幸	樹之登	近志	賀原			坂実	幸正	昭治	中平藤	山野田	源訓宏	也之直		小戸樋	江井和	幸信誠	三德子	田林本	橋田	容利雅	美子子
	佐藤弘	道千	市获	井井			新廣本	幸正	昭治	中平藤	山野田	源訓宏	也之直	(高27回)	小戸樋	江井和	幸信誠	三德子	田林本	橋田	容利雅	美子子
	服阿宇	千郎	加川	藤口	(高14回)		阿石磯	幸正	昭治	中平藤	山野田	源訓宏	也之直		小戸樋	江井和	幸信誠	三德子	田林本	橋田	容利雅	美子子
	小澤木	博代	久清	保水			磯岩笠	幸正	昭治	中平藤	山野田	源訓宏	也之直	(高28回)	小戸樋	江井和	幸信誠	三德子	田林本	橋田	容利雅	美子子
	鐔木村	三綾	鈴左	右内			藤原	幸正	昭治	中平藤	山野田	源訓宏	也之直		小戸樋	江井和	幸信誠	三德子	田林本	橋田	容利雅	美子子
	後鈴鈴	幸子	竹早	川津			井島	幸正	昭治	中平藤	山野田	源訓宏	也之直	(高29回)	小戸樋	江井和	幸信誠	三德子	田林本	橋田	容利雅	美子子
	鈴鈴高	英次	松米	柴崎	(高15回)		井島	幸正	昭治	中平藤	山野田	源訓宏	也之直		小戸樋	江井和	幸信誠	三德子	田林本	橋田	容利雅	美子子
	丹井澤	枝彦	金本	多三			井島	幸正	昭治	中平藤	山野田	源訓宏	也之直	(高30回)	小戸樋	江井和	幸信誠	三德子	田林本	橋田	容利雅	美子子
(高4・併24回)	平柳石	子平	杉浦	正健			井島	幸正	昭治	中平藤	山野田	源訓宏	也之直		小戸樋	江井和	幸信誠	三德子	田林本	橋田	容利雅	美子子
	金高松	惠右	小志	玉道	(高16回)		井島	幸正	昭治	中平藤	山野田	源訓宏	也之直		小戸樋	江井和	幸信誠	三德子	田林本	橋田	容利雅	美子子
(高5回)	奥平有	弘政	小志	玉道			井島	幸正	昭治	中平藤	山野田	源訓宏	也之直	(高31回)	小戸樋	江井和	幸信誠	三德子	田林本	橋田	容利雅	美子子
(高6回)	小嶋本	弘政	小志	玉道			井島	幸正	昭治	中平藤	山野田	源訓宏	也之直		小戸樋	江井和	幸信誠	三德子	田林本	橋田	容利雅	美子子
(高7回)	大是近	弘政	小志	玉道	(高17回)		井島	幸正	昭治	中平藤	山野田	源訓宏	也之直		小戸樋	江井和	幸信誠	三德子	田林本	橋田	容利雅	美子子
	杉杉永	弘政	小志	玉道			井島	幸正	昭治	中平藤	山野田	源訓宏	也之直	(高32回)	小戸樋	江井和	幸信誠	三德子	田林本	橋田	容利雅	美子子
	羽羽三	弘政	小志	玉道			井島	幸正	昭治	中平藤	山野田	源訓宏	也之直		小戸樋	江井和	幸信誠	三德子	田林本	橋田	容利雅	美子子
(高8回)	神内工	弘政	小志	玉道	(高18回)		井島	幸正	昭治	中平藤	山野田	源訓宏	也之直		小戸樋	江井和	幸信誠	三德子	田林本	橋田	容利雅	美子子
	杉杉外	弘政	小志	玉道			井島	幸正	昭治	中平藤	山野田	源訓宏	也之直	(高33回)	小戸樋	江井和	幸信誠	三德子	田林本	橋田	容利雅	美子子
(高9回)	武石金	弘政	小志	玉道	(高19回)		井島	幸正	昭治	中平藤	山野田	源訓宏	也之直		小戸樋	江井和	幸信誠	三德子	田林本	橋田	容利雅	美子子
	高小齊	弘政	小志	玉道			井島	幸正	昭治	中平藤	山野田	源訓宏	也之直	(高34回)	小戸樋	江井和	幸信誠	三德子	田林本	橋田	容利雅	美子子
(高10回)	高安太	弘政	小志	玉道	(高20回)		井島	幸正	昭治	中平藤	山野田	源訓宏	也之直		小戸樋	江井和	幸信誠	三德子	田林本	橋田	容利雅	美子子
	笹鈴野	弘政	小志	玉道			井島	幸正	昭治	中平藤	山野田	源訓宏	也之直	(高35回)	小戸樋	江井和	幸信誠	三德子	田林本	橋田	容利雅	美子子
(高11回)	本山青	弘政	小志	玉道	(高21回)		井島	幸正	昭治	中平藤	山野田	源訓宏	也之直		小戸樋	江井和	幸信誠	三德子	田林本	橋田	容利雅	美子子
	今梅杉	弘政	小志	玉道			井島	幸正	昭治	中平藤	山野田	源訓宏	也之直	(高36回)	小戸樋	江井和	幸信誠	三德子	田林本	橋田	容利雅	美子子
	杉田中	弘政	小志	玉道			井島	幸正	昭治	中平藤	山野田	源訓宏	也之直	(高37回)	小戸樋	江井和	幸信誠	三德子	田林本	橋田	容利雅	美子子
	服部	弘政	小志	玉道			井島	幸正	昭治	中平藤	山野田	源訓宏	也之直	(高38回)	小戸樋	江井和	幸信誠	三德子	田林本	橋田	容利雅	美子子

バナー広告募集のご案内

首都圏段戸会ではホームページのトップページに掲載するバナー広告を募集しております。

首都圏段戸会は、首都圏のみならず、故郷の三河から、更には日本全国、果ては海外にまで広がる会員1,800名近くを擁し、年代も大学生から80歳代までの幅広い年齢層の岡崎高校卒業生の集まりです。

首都圏段戸会ホームページは、そんな卒業生が世代を超えて集うコミュニケーションの場となっており、日々会員や岡高OBに関する情報を活発に発信し、既に、開設（2003年）以来のアクセス数は8万2千回を超えています。

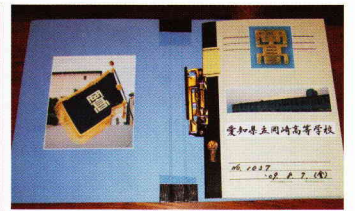
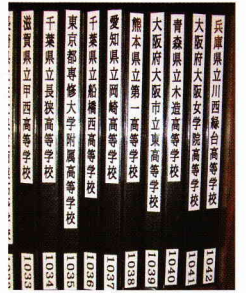
主なバナー広告掲載応募要件は以下の通りです。

- ①岡崎高校卒業生が在籍する企業。
- ②バナー広告には、会社名・ロゴマーク・岡崎高校卒業生氏名（卒業年次）明記。
（掲載会社ホームページURLへのリンク可）
- ③なお、掲載を希望される方からは、若干の首都圏段戸会運営基金の寄付をお願いしています。

応募のご連絡は下記ホームページの事務局宛メール欄よりお願いします。

奇跡の居酒屋ノート

表題のノートのこと、ご存知ですか？ 新橋の居酒屋「有薫酒蔵（ゆうくんさかぐら）」においてある高校別のノートのことです。全国約1500校の1500冊が、あちこちの壁いっぱいに並んでいる様子は壮観です。岡高もあります、No.1037。（愛知県で最も早いのは旭ヶ丘のようです）岡高第1号の書き込みは09年8月、これまでに10数名のOBが書いています。編集人も総会のPRを書いてきました。暇があったら寄ってみては？ ランチもあります。懐かしい名前が見つかるかもしれません。JR新橋駅日比谷口から2分、銀座線新橋駅7番出口より1分。なお、表題はこのノートを題材に最近出版された本の書名です。
（編集人：磯尾）



平成22年度世話人

(高2回)服部 登	会計監査
(高3回)丹羽 鼎	
(高6回)有馬 弘政	
(高7回)村上 澪子	
(高8回)杉浦 嘉久	会長
田中 厚生	
(高10回)木村 富司雄	
(高11回)永田 宏	
中根 淳	広報担当
(高12回)鶴田 文男	
成瀬 浩	
(高13回)中 浩之	
藤田 訓弘	副会長
(高14回)磯尾 進	
水谷 鏡子	
(高15回)満江 信之	
(高16回)鈴木 貞雄	副会長
野村 親信	
(高17回)伊与田 正彦	
佐伯 寛子	
山田 博子	会計監査
(高18回)山内 恵	
(高19回)都築 正行	
福山 透	
村木 央明	情報担当
	事務局長

(高20回)天野 隆太郎	副事務局長・企画担当
辻村 貴典	
(高21回)清水 照雄	
山田 俊文	
(高22回)青山 裕治	情報担当
上田 洋子	
(高23回)野々山 浩	
(高25回)戸田 譲三	
(高26回)織田 利彦	副事務局長・書記
山口 知子	
(高27回)山崎 正枝	
(高28回)石田 邦雄	
(高30回)米津 智徳	会計
(高31回)畔柳 博史	
高原 正之	
(高32回)堀内 友二	
(高33回)阿部 由美子	副事務局長・企画担当
(高34回)板谷 敏正	
井上 由美子	
(高35回)佐藤 千矢子	
菅 伸介	情報担当
古澤 昌宏	
(高38回)中西 和幸	
(高40回)大田 武	
(高41回)磯谷 陽子	企画担当
重徳 和彦	
平山 健二	

(高42回)長 野 麻子	広報担当
(高43回)八田 益之	
(高44回)松尾 直樹	
(高45回)筒井 貴之	
西浦 瑞恵	情報担当
(高46回)朝岡 大輔	
小椋 俊博	
(高47回)杉本 いづみ	
(高49回)青島 信吾	情報担当
三田 桂子	
(高50回)鳥居 福代	
前田 泰典	
(高51回)加藤 千晴	情報担当
細田 晃展	
(高52回)今泉 貴雅	
(高53回)上野 傑	
(高54回)安藤 美保	広報担当
山田 英嗣	
(高57回)加納 実久	
(高58回)門池 金八	
(高59回)犬塚 真由子	広報担当
小田 敦子	
内藤 茂弥	
(高60回)篠原 国智	
杉浦 綾香	

《サークル活動》に関するお問い合わせ 皆さまの参加をお待ちしております！

“段戸囲碁会”

（代表：藤田 訓弘 高13回）kfujita@muc.biglobe.ne.jp

“段戸華教室”

（代表：西浦 瑞恵 高45回）usagi-m@msg.biglobe.ne.jp

“段戸音楽会”

（代表：山田 博子 高17回）marcialegow2w-danon3@memoad.jp

“段戸句会”

（代表：小森 稔子 高13回）shigeko_komori@ybb.ne.jp

“段戸「山の会」”

（代表：板谷 敏正 高34回）itaya@propertydbk.com

“段戸ゴルフ会”

（代表：木村 富司雄 高10回）BYR10566@nifty.ne.jp

「首都圏段戸会」は愛知県立岡崎高校の首都圏同窓会です。

公式ホームページ <http://homepage3.nifty.com/dandokai/>
メールアドレス nqd28299@nifty.com